

平成 22 年度春データベーススペシャリスト試験分析速報

2010,4,19 (株) アイテック 情報技術教育研究部

1. 試験全体講評

新制度になって 2 回目（従来の試験から通算すると 16 回目）のデータベーススペシャリスト試験が行われました。平成 22 年度の午前Ⅱ問題は既出・類似問題が多く、昨年と同程度の平易な問題だったといえるでしょう。午後Ⅰ記述式は、問 1（正規化）、問 2（DB 設計）、問 3（保守・運用）のいずれもボリュームが多く、昨年よりもやや難でした。午後Ⅱ論述式はボリュームがやや減りましたが、昨年と同程度の難易度だったといえるでしょう。

2. 午前Ⅰ試験（高度試験共通）の講評

新試験制度になって 3 回目の試験実施ですが、前回の平成 21 年度秋期における高度試験午前Ⅰは午前免除対象者が受験者の半数前後いました。試験種別によって異なりますが、午前Ⅰを受験した人で合格点の 60 点以上取れた人は受験者の 4～5 割です。普段学習をしていないと簡単には 60 点を取れませんので、しっかり対策する必要があります。

共通知識として幅広い分野から 30 問が出題される午前Ⅰ試験ですが、過去 2 回と同様に今回も応用情報技術者試験の 80 問からの抜粋になっていました。

出題内容に関して、前回試験では新傾向問題が増えましたが、今回はやや少なくなっています。難易度は前回に比べれば、少し易しかったといえます。

（新傾向問題）

- 問 3 整形形式の XML 文書が妥当である条件
- 問 9 経験則を基にした評価方法
- 問 14 LAN アナライザを使用するときの留意点
- 問 18 プロジェクトライフサイクルに共通する特性
- 問 20 ITIL v3 における問題管理プロセスの目標
- 問 26 企業の競争戦略におけるチャレンジャ戦略

3. 午前Ⅱ試験講評

平成 22 年度の午前Ⅱ問題は、共通キャリアスキルフレームワークのデータベースから 20 問（平成 21 年は 14 問）が出題され、残りは、コンピュータ構成要素、システム構成要素、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術から各 1 問出題されました。昨年比べ、データベースからの出題が大幅に増えましたが、従来通り、既出問題や類似問題が相変わらず多く出題されています。データベースでは、20 問のうち関係の要素とデータモデル、更新時の問題点の 3 問が目新しい程度で、残りの 17 問は既出・類似問題でした。難易度的には、セキュリティ、システム構成要素、ソフトウェア開発管理技術からの出題がやや難だったものの、ほかは比較的平易な問題が多かったのではないのでしょうか。

難易度的には、昨年と同程度といえるでしょう。

4. 午後Ⅰ試験講評

平成 22 年の午後Ⅰ記述式は、問 1 がデータベースの基礎理論（正規化）、問 2 がデータベース設計、問 3 がデータベースの保守・運用について出題されました。

午後Ⅰ記述式は、平成 21 年と同じく、いずれも、問題文のボリュームも設問数も多い問題が出題されており、解くのにかなり時間がかかったものと思われます。3 問の中では、問 1、問 2 が昨年とほぼ同様の出題傾向でしたが、問 3 は平成 20 年度の間 4 と同じく運用系の問題が出題されました。今回は SQL が出題されませんでした。午後Ⅰ問題は、いずれも、設問がやや難しく、昨年よりも更に難易度がアップしたといえるのではないのでしょうか。

問 1（正規化）は、誤っている関数従属性の指摘、関数従属性の列挙、候補キー、正規形名とその根拠、第 3 正規形への分解、空欄穴埋め、関数従属性図の完成と第 3 正規形への分解、“受講者追加属性”の関係スキーマについて出題されました。設問 1 と 2 は昨年と同じような出題傾向ですが、設問 3 でメタデータモデル化について出題されました。設問 3 がやや難しく、昨年よりも難易度アップといえるでしょう。

問 2（データベース設計）は、テーブルの完成、取り得る値の意味の違い、候補キー、項目チェックテーブルの完成、制約チェック条件の完成、不具合のあるテーブル名とその内容、変更すべきテーブル名と変更操作の内容、追加すべき列名について出題されました。昨年同様に制約条件について出題されましたが、比較的平易な部分関数従属性に関する出題がなく、問 2 も昨年よりもやや難易度アップといえるでしょう。

問 3（保守・運用）は、追加すべき制約の目的・列名、方法 2 が優れている理由、SQL 文の穴埋め、全体オンライン IC（イメージコピー）が必要な障害の例、オンライントランザクションからのアクセスを停止すべき範囲、障害直前に最も近い状態と回復方法、表 2 空欄への CRUD の記入、表 3 空欄への容量割合の記入について出題されました。解答量が多いこともあり、昨年並みか、やや難の難易度といえるでしょう。

5. 午後Ⅱ試験講評

平成 22 年の午後Ⅱ論述式（事例解析）は、問 1 がデータベースの実装（性能調整、運用）に関する問題で、問 2 がデータモデル作成の問題でした。

問 1 は、一昨年、昨年に引き続き性能調整、運用についての出題です。また、久しぶりにスペース見積りにについても出題されました。昨年と異なり、データベース設計やデータモデルについては出題されませんでした。昨年よりもボリュームがやや少ないものの、難易度的には、昨年と同程度だったのといえるでしょう。問 2 は、データモデル系としては標準的な問題でした。事例は昨年よりもやや複雑でしたが、ボリュームがやや減り、解答量も減ったので、難易度的には、問 1 同様、昨年と同程度だったのといえるでしょう。

問 1 は、オフィスサプライ商品販売会社の販売管理システム再構築の実装についての出

題でした。設問 1 は、ユーザ表領域の所要量見積り、表領域の配置が妥当な理由、運用上問題が少ない理由、設問 2 は、性能向上のために列を追加すべきテーブル・列名・その理由、集計のために列を追加すべきテーブル・列名・使用方法、デッドロックが起こる可能性のある処理とその理由、設問 3 は、パーティション化の案 A～C における検索内容の記述（空欄穴埋め）について出題されました。スペース見積りなど性能調整の設問が多く、面食らった受講生の方も多かったのではないのでしょうか。難易度的には午後Ⅱとして標準的な問題であり、昨年並みの難易度だったといえるでしょう。

問 2 は、組立て家具メーカーの受注・入出庫・出荷業務を対象にしたデータモデル作成について出題されました。設問 1 は、a～g 欄に入れるエンティティタイプ名、リレーションシップの追加、参照元・参照先エンティティタイプ名と外部キーの設定契機、設問 2 は、関係スキーマの完成（空欄ア～シ）、数を記録する属性の設定方法（空欄穴埋め）について出題されました。昨年に比べ事例はやや複雑ですが、解答量は昨年よりも少なく、難易度的には昨年並みの問題だったといえるでしょう。

以上